

平成29年度 事務事業評価シート

事務事業名	防災船着場の活用					所管	都市づくり部 道路管理課	
	行政計画	事業NO.	41	計画事業名	船着場の活用	事業の開始・終了年度		
事務事業の概要	長期総合計画体系	[基本目標] I-2. まちの魅力の創出 [小 柱] (2)地域のネットワーク化と回遊性の向上 [施 策] ①地域のネットワーク化推進				[事業開始]	平成28年度	
	根拠法令等	条例・規則	[法令等名]	東京都台東区船着場条例・同施行規則			[終了予定]	- 年度
	事業対象	舟運事業者・来街者						
	事業目的	防災船着場を公共船着場として平常時に一般開放することにより、浅草への交通手段の1つとして舟運を活性化させ、回遊性の向上と来街者の増加を図る。						
	事業内容	開放期間：通年（年末年始、隅田川花火大会当日を除く） 開放時間：午前9時から午後6時 利用できる船舶：旅客船（定期・不定期）、遊漁船等の営業船舶						
	委託の有無	一部委託	委託内容	利用調整・受付業務、船着場管理業務				
	補助金の有無	なし						
事務事業の実績	種 別	指標の名称	(単位)	目標値 (30年度)	26年度	27年度	28年度	
	活動指標	船着場開放日	日	358	-	-	298	
	成果指標	船着場利用回数	件	3,300	-	-	3,331	
	決算額	(単位：千円)			-	-	4,051	
	事務事業コスト (単位：千円)	人にかかるコスト（人件費など）			-	-	2,229	
		物にかかるコスト（物件費・維持補修費）			-	-	4,051	
		その他のコスト（扶助費・補助費など）			-	-	0	
		総経費			-	-	6,280	
	財源項目 (単位：千円)	受益者負担額（使用料・手数料・負担金など）			-	-	70	
		その他特定財源（国や都の支出金・財産収入など）			-	-	0	
一般財源（区負担額）			-	-	6,210			
前回評価から改善した事項	なし							
評価の視点	評価	評価の理由						
	必要性	4	浅草への交通手段の1つとして、舟運活性化のニーズは高い。					
	効率性	2	新規舟運事業者の利用が伸び悩んでおり、一層の利用拡大を図る必要がある。					
	手段の適切性	3	利用調整・受付業務、船着場管理業務は、舟運事業に熟達した事業者へ委託しており、安全かつ円滑な事業運営を考えると概ね適切である。					
	目的達成度	3	利用回数は目標を達成しているものの、新規舟運事業者の利用拡大が課題である。					
[評価の理由]（区民生活への影響を十分考慮すること）					評価結果	今後の方向性	拡大 改善 維持 縮小 廃止・終了	
利用回数は目標を達成しているものの、新規舟運事業者の利用拡大が課題である。						維持		